



2002-2003 年度のための
地区協議会 会長部門
2002年3月17日(日) テクスピア大阪

1.開会の挨拶

D G E 小島 哲

先日の第2回 P E T S (2月24日)の時もそうでしたが、私の精進がよいのか？今日も良い天気、半袖でプレーができるゴルフ日和です。そのような日に地区協議会にご出席いただきありがとうございます。

ここ泉大津のテキスピアで開催させていただきますが、和歌山から南の皆様には交通の

便の悪い所で、まことに申し訳なく思っております。近い将来、新宮RCでガバナーを出されましたら、喜んで新宮まで参じますのでお許しいただきたいと思っております。

今日一日よろしくお願ひします。

2.基調講演

D G 前田 孝道

こんにちは。地区協議会「会長部門」にご出席いただきまことにありがとうございます。暑さ寒さも彼岸までという言葉がございしますが、明日が彼岸の入りで、21日が彼岸の中日です。昨日、紀三井寺の桜の開花宣言がございました。本格的な春は大きな足音をたてて参っております。

昨年の地区協議会は、会長、幹事をはじめ全部門の役員委員の皆様を一同に集めて開催いたしました。地区協議会も一括して開催いたしますと1日で終わりますが、それではガバナー・エレクトは会長部門にしか出席できず、各部門まで自分の考えが行き届きません。

今回、小島ガバナー・エレクトはいろいろな新しい改革に取り組んでいます。地区協議会は8部門に分けて開催し、全ての部門に出席します。自分の考えを述べ、また多くの会員のご意見を伺うという方法を選びました。さらに、ガバナー月信もインターネットのホームページに掲載するなど、小島ガバナー・エレクトはいろいろな意味で地区の改革に乗り出しております。

さて、昨年9月11日、米国同時多発テロが発生してから、それを境に世界は大きく様変わりしました。それ以前は全般に平和でありましたが、それ以後は米国の厳しいアフガニスタンへの報復攻撃で一変しました。これに

よる被害は相当なもので、莫大な費用が負の方向に使われています。親睦と奉仕のロータリーの精神があれば、こんなことは起こらなかったと思っております。このような事態が早く終わることを願っております

いま日本も厳しい状況にありますが、96年前のアメリカ(シカゴ)に比べるとまだよい方であろうと思っております。当時のアメリカ経済は破綻に瀕しており、株価は紙切れ同然で巷には失業者が溢れていました。食料事情も厳しく、また青少年の心も荒みに荒んでいて、犯罪が絶えない状態でした。

このような中でロータリーはポールハリスによって立ち上げられ、だんだん大きく広がっていきました。ロータリーの優れた包容力、また、非宗教、非営利、非政府という方向を目指したことがロータリー発展の一番大事な点であったと思っております。

私が生きてきた時代は、戦前の全体主義の世界から戦後のデモクラシーの世界へと移りました。戦後はみんなが各々の責任によって生きていくことになって、当初人々は非常に不安を感じました。しかし、本当の人間の幸せは戦後の歩みの中にあると思っております。自分の責任において、精一杯頑張り、天地の恵みと多くの人々の働きによって我々が生かされていることを考えれば、我々も社会の一員と

して多少ともゆとりができれば、社会のために役立てていくことは、至極当然のことです。自分さえよかったらそれでよいという考えでは、自分はもちろん、愛する家族をはじめ何もかもがめちゃくちゃになります。今日は経済的に不況だ、不況だといいますが、まだまだあの当時に比べれば、ありがたいと思わねばなりません。今日はどんなに幸せなことでしょう。

そして私達は皆様といつでも手を組んで再出発することができます。よりよき方向を目指すことができます。みんなで力を合わせて立派な世の中を築いていこうという気持ちになっていただきたい。必ずいい方向に向かうと、私は確信しております。

私は去年の地区協議会のときに、山中鹿之助の「憂きことの 尚この上に積もれかし 限りある身の 力ためさん」という詩を紹介しました(自分の力には限界があるが、不幸せが来るなら来てみなさい。どれだけ耐ええるか自分の力を試してみましようという力強い詩)。この詩に、私はいつでもどんな状況の中でも、力強く立ち上がっていくことを教えられました。

皆様には当地区の各ロータリークラブの最

高責任者として、自分自身を激励し、会員の皆様と手を取り合って、勇気をもって進んでいただきたいと思います。このことが今日の会議の最初にぜひ聞いて欲しかったこととございます。

最後に、ガバナー・ノミネーをご紹介します。2003～2004年度国際ロータリー第2640地区のガバナーの前窪貫志ロータリアン(和歌山南RC)です。よろしくお願いいたします。



前田ガバナー 前窪ガバナー・ノミネー

3.ガバナー・ノミネー挨拶

DGN 前窪 貫志

「降って湧いた話です。」ということ、昨年小島ガバナー・エレクトが申しておりましたが、私も予定外でなったというのが実情でございます。しかし、受けた以上は、自分のできる範囲で最大限努力していきたいと考えております。また、そうしないと皆様にご迷惑をかけると思っております。

いままで何十年か生きてまいりましたが、それを糧に頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

ただ、これから小島ガバナー・エレクトが非常なスピードで変革をなさいます。ここに

出席の皆様も大変面食らっていると思います。

いまいろいろ考えましても、小島ガバナー・エレクトの方針で、いままでの地区、ロータリーのイメージが非常に速いテンポで変わっていくのではないかと、また変わっていかねばならないと思っております。そういう点も含めまして、75クラブの力を充分お借りして、務めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。急なご指名でございますので、はなはだ簡単ですがこれでご挨拶とさせていただきます。

4.次年度の方針

D G E 小島 哲



小島ガバナー・エレクト

最初に、賛同が必要な事項の決議を会長エレクトの皆様をお願いします。再度説明させていただきます。

(1)地区分担金

前期 7,000 円、後期 7,000 円。

月信のホームページ化で 700～800 万円程度が節約できる予定です。しかし正直なところ、どのくらい経費が必要なのかまだ不明です。3～4 ヶ月経って、本当に経費がかかるようでしたら、再度説明させていただきます。また、安くなる場合は後期に多少とも値下げしたいと考えています。

(2)地区大会分担金

前期 6,500 円、後期 5,000 円。

今年度と同じ金額です。次年度から、2 日間に渡り地区大会を開催しなければならないという項目が緩和されます。時間が短くできますので、今期より多少安く上がると考えています。安くなれば後期の 5,000 円をもう少し値下げしたい。

(3) G S E

G S E(研究グループ交換)は、皆様の 2/3 の賛成が必要な項目です。次年度は G S E がありませんが、03-04 年度および 04-05 年度に実施します。前年に送り出しを受入をし、翌年にその逆を行なう予定です。相手国はブラジルの 4640 地区(ブラジルの南部)で、使用言語は英語、ポルトガル語になります。

(4)世界社会奉仕ファンド

2,000 円/年(例年どおり)。

ただ、例年と異なり地区の資金ではなく、クラブから地区への供託金とします。使用する場合は、その W C S に賛同されるクラブを募り、賛同されたクラブからの奉仕という形になります。

(5)新世代・国際交流ファンド

3,000 円/年。

交換学生に 1 年間日本で勉強してもらうことが、日本を理解してもらうのに役立っています。いろいろな国と交換学生をしたいと思うが、日本の高校生がそのような国に行きたがらないのが現状です。受入だけでもよく、必ずしも受入学生数と送り出し学生数が一緒でなくてもよい。人数は 10～15 人程度です。

(6)ポリオ・プラス

3,000 円/年(今年度と同じ)。

今年度は財団寄付とは別に年間 3,000 円をポリオ・プラスにお願いしています。2005 年にポリオ撲滅(創立 100 周年の記念行事)を是非完結するため、今年度同様ご協力をお願いしたい。

(7) D L P

今年度は D L P(ガバナー補佐の件)の試行期間です。次年度から本採用となります。本採用のためには、成文化したものを R I に届ける必要があります。本日も承認いただきましたら、地区協議会会長部門で承認を得たという書類をつけて、日本事務局を通じて R I へ提出します。中村研修リーダーより補足説明をお願いします。

[中村研修リーダーの補足説明]

前回の P E T S の時にもお話ししましたが、地区用として日本語で成文化されたものはこれが初めてだと思います。小島ガバナー・エレクトの力作でございます。これをご承認賜りたいと思います。

[以上の7点についての質疑応答]

Q：世界社会奉仕について、もしクラブとして賛同するものがなかった場合 2,000 円はどうなりますか。(泉南 R C 山本さん)

A：もしクラブとして賛同されるものがなかったら、次年度に繰越します。万一繰越金が多くなった場合、地区として取り組まざるを得ない仕事に流用することも考えています。その場合は、必ずクラブの許可を得てから、使用させていただきます。(小島ガバナー・エレクト)

Q：最近の地区大会のプログラム、記念誌および月信が年々立派に豪華になってきています。この点についてどうお考えですか。(高石 R C 北口さん)

A：私の年度は月信および P E T S、地区協議会、I M などの報告書はすべてホームページに掲載します。皆様に配布する報告書はありません。月信は各クラブでダウンロードし、コピーが会長、幹事に必ず渡るように事務職員をご指導ください。月信を読み、内容的によいものがあれば、例会の時にロータリー情報として、会員の皆様にお話してください。(小島ガバナー・エレクト)

Q：ホームページ化した月信のページ数はどの程度になりますか。

A：いままでの月信の中で、クラブや例会場の住所、電話番号などはホームページの月信の中に入れず、別のところに掲載するなどして、必要なものだけを載せます。ページ数にして、A4 サイズで 8 枚以内と考えている。(小島ガバナー・エレクト)

Q：月信がホームページになって、配布がなくなりますとクラブで説明したところ、コピーして配布して欲しいという希望もありました。他のクラブはどんな状況ですか。当クラブでは、印刷物が必要な方には慣れるまで配布する予定です。(堺フェニックス R C 岡本さん)

A：ガバナー月信を毎月綴じておられる方には、月信のコピーを渡してください。ホームページ化の大きな理由の一つは、経費の節減です(月信発行の費用は年間

1,000 万円程度)。他に、地区の全クラブにコンピューターの導入を促進しており、地区として、導入したコンピューターを有効に利用する方法の一つとして、月信のホームページ化、Eメールによる事務連絡を考えています。(小島ガバナー・エレクト)

Q：ホームページを自分で見ることができない方は少ないと思います。しかし、年輩の方や月信のバックナンバーを集めている方にはコピーするなどのサービスがクラブで必要だと思います。(和歌山南 R C 片桐さん)

A：I M で事務職員さんに次の点をお願いしています。

- ・会長・幹事には必ず月信をコピーして渡すこと。
- ・クラブで月信が必要な方、欲しい方にもコピーして渡すこと。

実際のところ、いろいろな意見などができると予想しています。それらを地区までフィードバックしてください。それらを参考に次年度以降に生かしていきたい。(小島ガバナー・エレクト)

A：本来、月信はガバナーから会長・幹事宛のレターで、ルール上は会長と幹事に送れば良いことになっています。それを一般方に配布する場合、以前は「コピー」と表示して渡していました。今回の方法は、月信の原点に戻ったことになります。(中村研修リーダー)

Q：月信のホームページ化、Eメールの活用には大賛成です。当クラブも次年度から、会報を自前で作成の予定です。費用が半額程度に削減できると考えています。さらに、会報などをEメールで送れば、印刷する必要がなく費用がさらに安くなると思います。地区が指導して、全員がEメールを持つようにしたらどうでしょうか。(岩出 R C 平岩さん)

A：まだEメールのないクラブが数クラブあります。そのクラブにはEメールの取得を今年度中にお願ひします。(小島ガバナー・エレクト)

Q：月信のホームページ化は賛成です。できれば、両面コピーできるようにファイル

を分けることができないでしょうか。(阪南RC木村さん)

A : 月信はPDFファイルでアップします。これを「アクトバトリーダー」(無料)というソフトで読み出して、プリントアウトしてください。内容的に分けてアップする予定ですので、両面印刷できるように、奇数ページと偶数ページに分けて掲載することは考えておりません。(小島ガバナー・エレクト)

それでは、説明いたしました7点についてご承認賜りたいと思います。よろしければ拍手でもってお応えいただきたいと思います。

(拍手でもって承認される)

次年度RI方針

ラタクルRI会長エレクトは訥々とお話される方です。そのラタクルさんのお話が大変良かったので資料の12ページ以降に掲載しました。このエッセンスが前回配布しましたビデオの内容です。是非お読みください。またクラブで会員の皆様とビデオをご覧いただきたいと思います。

ラタクルさんは、RIは何もしません。皆様のお手伝いをするだけですと、地区やガバナーに責任を預けました。この方針はガバナーにプレッシャーがかかり、仕事が多くなるということです。これはクラブについても同じことです。

次年度の地区方針は、退会防止、クラブ活動、ポリオ撲滅、職業奉仕、OA化が重点です。

会員増強については、私が思っている以上に、会長エレクトの皆様が大事だと考えているようです。アンケートの結果で皆様の意気込みが判りましたので、次年度は会員増強をあまり言わないようにします。

むしろ大事にしたいのは、退会防止です。退会防止というのは、退会届を提出した人を説得して、撤回させることではありません。会員の皆様に退会届を書かさないようにさせることです。

退会防止とクラブ活動について

2640地区は財団、米山共寄付額はトップクラスです。国際協議会に行っても別格の扱いである。しかし、実際にそのことを実感して

いる人が何人いるだろうか？RI会長エレクトのラタクルさんの話でも「実際の奉仕活動は、自分がその場に行って手をだしてみても、その結果どうであったかを判断するべきであり、周りから見ていただけでは分からない。」と言っています。財団の奨学生でも、交換学生でも地域のクラブの方がその学校へ行って、「こういうプログラムがありますから受けてみたら如何ですか？」と推薦し、実際その子が留学した場合は1年後にどんな風が変わったかを実感できる。その様な奉仕活動をやりたい。クラブが主体となって動けるような奉仕活動にして欲しい。

金融機関の人が自分で会費を出してまでクラブに残るといふのは少ない。クラブに魅力を感じさせないとだめ、もう1つは費用が掛かり過ぎるのではないかと。例えば、入会金について、細則に「理事会の決定がなければ」という文言を入れてクラブの裁量にまかせる。

地区分担金、地区大会の費用、PETS、地区協の費用も節約しようと必死に考えています。PETSや地区協の費用は本来地区の費用から出すべきものですが、この予算処置が無いので、今年も負担をお願いします。とにかく魅力あるクラブにして欲しい。退会防止、クラブ活動と言う名代でございませぬ。

ポリオ撲滅について

実に厄介な話であります。私は説明するのがイヤなのであります。しかし、会長の皆様に納得していただいて、こうするというのを頭に入れて帰っていただかないと、私が思っていることが実行出来ませんので、一寸難儀な問題ですが申し上げます。

2005年にロータリー100周年記念事業としてポリオ撲滅の宣言をしたい。そのためには2003年の9月ごろに発生件数をゼロにしなければならぬ。それから二年ほどサーベをやりまして、ポリオが発生しないとなりまして、初めて撲滅できたと宣言が出来るわけです。

2003年9月にポリオ発生をゼロにするためには如何したらよいかを、WHO、ユニセフ、CDC、世銀、ロータリーが集まり協議をしたのが昨年のものであります。お金が4億ドル不足しているのです。この4億ドルを何とかしてくれという話になりました。マイクロソフトのビル・ゲイツ財団が、ロータリーが

1,000 ドル出すなら、私どもも同額の 1,000 ドル出しましょうと言ってくれた。1,000 ドルが倍の 2,000 ドルになります。この 2,000 ドルに対し世銀が 1.5 倍の 3,000 ドルを出しますということで、合わせて 5,000 ドルになります。1/5 を集めるとよいのですが、なにせ不足分が 4 億ドルという膨大な金額ですので、1/5 でも 8,000 万ドルです。8,000 万ドルを集める運動をやりますということをこの前の国際協議会で初めて聞いたのです。

今の財団への寄付は年間世界中で 7,000 万ドル程ですので、全額ポリオに当てても不足します。日本ではワクチン代は全部そろっていて、今はポリオ・プラス・パートナーという形で後のサーベのために協力していると思っていました。資金不足の原因は子供の数を読み違えたか、内戦のためワクチン投与が難しくなっているとか、今発生している地域が経済的にポリオどころでないなどの理由で資金不足なのです。2001 年 1 月から今日まで世界中で 500 件以下の発生件数にまでこぎ着けています。今資金不足を理由にやめることは十数年やってきたポリオ撲滅の運動が無駄になる恐れがありますので、何とかしたいと思います。

8,000 万ドルを全ロータリアンで均等に負担しますと一人あたり 67 ドルになります。今までの実績から日本のロータリアンに倍の 135-140 ドルが期待されています。そのまま上乘せして出してくださいとはとても言えません。この前のアンケートで財団の寄付をお聞きしましたところ 60 250 ドルという答えがありました。例年に比べてすこし少ない額ですので 10% 上乘せしていただきたいとお願いしました。ポリオ・プラス・パートナーの 3,000 円(25 ドル)を足して 245 ドルになります。この内、一般寄付ではなくポリオ・プラスに対する使途指定寄付として 130 ドルを送金していただけないかと思います。その結果として 3 年後の奨学生が半分位になりますが、それを承知でポリオ・プラスに協力したいと思います。

具体的には二つのことをお願いしたい。一つは皆様から頂戴しました財団の寄付額(アンケート結果)を 10% 上乘せしていただきたい。二つ目は財団寄付を 130 ドルになるまでポリオの使途指定寄付として送金していただきたい。以上賛同願えますか？よろしければ拍手をお願いします。

(拍手多数)

Q：先日の中島 P D G のお話、エレクトのお話に感銘していますが、百周年に拘らずやられたほうがロータリーのだと思いますが？(御坊 R C の古久保さん)

A：次期 R I 会長のラタクルさんのおっしゃるグラス・ルーツの運動で、フィリピンでまず始まり R I が応援をした。1988 年に W H O、ユニセフ、C D C が協力してくれ、各国も多額の資金を出しています。米国、カナダ、日本でも 35-40 億位出してくれています。そもそもロータリーが 100 周年記念にポリオを撲滅しますからお願いしますということで始まりましたので、ロータリーの都合で止められないのです。(小島ガバナー・エレクト)

Q：ポリオ・プラス・パートナーに 3,000 円出していますが？

A：私の年度ではポリオ・プラス・パートナーも含めて 130 ドルになるように送金して欲しい。3,000 円はガバナー事務所に集まりますので私のほうで R I に送金します。残り 100 ドル余りを各クラブからポリオ指定寄付として送金してください。(小島ガバナー・エレクト)

OA化の問題について

成川 P D G の時から用意してきました O A 化も、機運がそろって来ましたので、私の時から使わせていただきます。

例えば、「クラブ委員長会議があります。出席していただけますか。」というのは、全てホームページに載せます。「クラブ委員長会議のお知らせ」というのをプリントアウトしていただきますとご案内と出欠表の二枚が出てきます。出欠の方はそのまま書き込んでいただき、ファックスでガバナー事務所までご返事をくだされば結構です。

報告書を印刷して皆様にお配りすることはいたしません。全てホームページに載せます。ただ一つだけ例外は G S E に関する報告書は冊子にしてあげたいと思います。他のことは全てホームページに載せます。

地区大会は、プログラムは皆様にお渡しいたしますが、報告はホームページをご覧いただくとと思います。

7 月 13 日にクラブの事務職員の研修セミナーを計画しており、その時、くれぐれもお願

いするつもりであります。会長からも出席をして話を聞いてくるようお願いしてください。やはり 8 割くらいの方に聞いていただきたい。ガバナー事務所の事務削減につながります。その分、クラブの事務の仕事は増えますが、慣れていただければそうでもないと思います。

月信一つ取りましても、取り込んでプリントアウトをしなければいけないということですが、月信を配る手間とそんなに変わらないと思います。これにより、ガバナー事務所ひいては地区資金の用途が減ってきますので、地区分担金の後半の部分を少しでも安くしたいと思っています。

5. クラブ会長のリーダー・シップに期待する

P D G 中村 幸吉



中村パスト・ガバナー

私の話は「資料」に書いてある通りです。クラブ会長のリーダー・シップがないことにはクラブの活性化は成り立たない。地区運営の改革が行われています。これをクラブ活性化に利用して欲しい。

国際ロータリーの教育の仕方やガバナー要覧はガバナーを受けた時どんな方法で皆様と

タイアップ出来るかということをお教えしてくれる。リーダーとはこういうものですよと書かれています。

心構えについては、まず心掛けていただきたいのは 4 番目の柔軟性で、対応を柔軟にさせていただくことが大きな力になります。

行動の方は二つあります。一つはユーモアです。この様に固苦しい会合でホットさせるにはクスツツ笑わせることが大切です。次にフォローアップが大切です。会長は本当に忙しく、雑用に追われがちになるのでフォローアップに気をつけないと、言いつ放し、遣りっ放しに成る恐れがある。気を付けてください。

会長になられた機会を生かして、勉強をしてください。こんなチャンスは二度とないと思いますから、クラブ会長要覧を 2・3 度熟読していただきたい。特に最後の定款・細則の処は暗記できる位にお読みいただきたい。

6. 次年度のクラブ活動について

直前ガバナー 水田 博史

皆様が会長の間は楽しんで、上手くいったなあという雰囲気作りをして、立派なクラブ作りに励んでください。

定款・細則を充分承知して、クラブの運営に努めていただきたい。手続要覧には会長の任務が 19 項目ほど並んでいますが、これに目を通してください。その中で強調したいのは、地域での活動は各クラブの会員一人一人が活動することが大切です。これが上手くいけばロータリーの発展につながります。クラブの運営を楽しく、効果が上がるように会員を鼓

舞してください。会長さんのやる気と熱意が大いに反映するとおもいます。会長要覧にクラブ会長の任務がありますのでご覧ください。

会員増強は R I もエレクトも何人増強してくださいとは言っていないですが、アンケートでは 5% の増強の意欲がおありですので、頑張ってください。先だつての I M で、9 名増強したクラブがあり、そのクラブの人の発言では「会長の凄い気合入れがあった」とのことでした。やはり会長のやる気と熱意の表れでし

た。



水田パスト・ガバナー

地域の人々にロータリーを知っていただいでこそ、ロータリーの存在感が高まり、イメージが高まる。地域の人々にロータリーを知

7. 質疑応答

Q：地区誌編纂の分担金はどうなりますか

A：小島年度で終わると思いますが、1,000円お願いします。小島年度の地区大会で無料配布できると思います。

Q：金澤クラブでは定員制を取っていますが、このことをどのように考えますか？

A：定員制を引いて入会待ちという形にしたいとは思いますが、矛盾もあります。下手をすると、クラブの身勝手だと取られかねない。

Q：ポリオ・プラス協力したいと思えます。幹事部門でもポリオの指定寄付のお話をお願いします。

A：幹事部門でも、財団部門でも同じお話を

ってもらうことは会員増強にも良い結果をもたらすでしょうし、地域の活動こそがロータリーの活動だと思います。

奉仕活動の中に新しいプログラムを一つ取り入れてください。例会を楽しいものにしてください。そのためにプログラム委員会を活用して欲しい。プログラム委員会は各委員会と調整をしながら例会を楽しいものにする様にしていきたい。

ロータリーのことを学ぶ機会を増やして欲しい。会長の時間を利用するもよし、フォーラムをやるもよし、情報源はいろいろあると思いますので活用してください。

最後にレジメの5を見てください。この場合には上の4つのことを考慮して目標を立ててください。会長を終わられる時充分な満足感を味わってください。

いたします。

Q：地区の予算はどのようにして決めるのですか

A：ガバナーの方で決めます。P E T Sとかは報告用件です。地区資金、分担金を変更する場合には、P E T Sで動議を出し、会長部門で採決していただきます。

Q：予算をなるべく早く出してください。

A：幹事部門で出します。前年度繰越金とか、事務所の細かい経費、地区の委員長会議など不明な部分も多々ありますが、出します。

最後に、小島ガバナー・エレクトの謝辞があり、閉会の点鐘が響き、地区協議会会長部門が終了しました。